



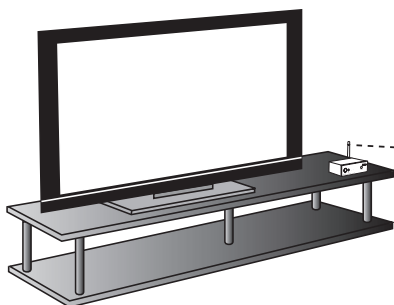
音楽のための
フリースタイルオーディオ

Wireless Audio Adapter

REX-Link2TX

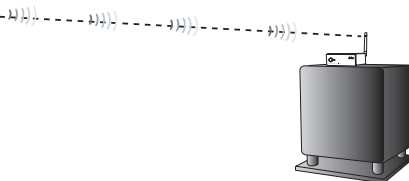
ユーザーズマニュアル

2011年12月 第1.0版



あらゆる音楽をワイヤレス再生
リビングを迫力の音楽空間に

- 2.4GHz AFH-SSワイヤレス伝送
- 非圧縮リニアPCM (16bit/44.1kHz 2ch)



本製品を正しく安全にお使いいただくため
ご使用前に必ず本書をよくお読みください。

ラトックシステム株式会社

 **RATOC Systems, Inc.**

<ご注意>

1. 本書の著作権はラトックシステム株式会社にあります。
 2. 本書の内容につきましては万全を期して作成しておりますが、万一不審な点や誤りなどお気づきになりましたらご連絡お願い申し上げます。
 3. 本書の運用により生じた結果の影響については、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
 4. 本書の一部または全部を無断で使用・複製することはできません。
 5. 本書の内容は、将来予告なく変更する場合があります。
-
- “REX”は株式会社リコーが商標権を所有しておりますが、弊社はその使用許諾契約により本商標の使用が認められています。
 - その他本書に記載されている商品名/社名などは、各社の商標または登録商標です。なお本書では、™、®マークは明記しておりません。

目次


●	安全にご使用いただくために	2
1	はじめに	4
	-1. 動作環境	4
	-2. 内容物の確認	5
	-3. 各部の名称	6
	-4. 使用上の注意	7
2	接続手順	7
3	リモコンのボリューム信号を記憶する	10
4	音が聞こえないときは	14
	-1. 確認の流れ	14
	-2. ペアリングについて	15
5	音が途切れやすいときは	16
6	お問い合わせ	17
	-1. 本製品に関するお問い合わせ	17
	-2. 修理について	17
7	オプション品のご案内	18
8	一般仕様	19
●	REX-Link2TX 質問用紙	

安全にご使用いただくために


本製品は安全に十分配慮して設計をおこなっていますが、誤った使い方をすると火災や感電などの事故につながり大変危険です。ご使用の際は、危険/警告/注意事項を必ず守ってください。



表示について



注意事項は、誤った取り扱いで生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

 **危険** 「人が死亡又は重傷を負う可能性があり、且つその切迫度合いが高い」内容を示しています。



 **警告** 「人が死亡または重傷を負う可能性がある」内容を示しています。



 **注意** 「人が負傷または物的損害が発生する可能性がある」内容を示しています。



  これらの絵表示は、行為を「禁止する」内容を示しています。



  これらの絵表示は、行為を「強制又は指示する」内容を示しています。



危険

 **禁止**

火の中に投入しない、
過熱しない。
火災・発火・破裂の原因。



 **禁止**

指定外
付属品以外のACアダプター・
充電ケーブルは使用しない。
液漏れ・発熱・破裂・故障の原因。



 **禁止**

高温の場所に保管しない。
火災・発火・破裂の原因。
直射日光を避け、60℃以上になる
ような場所に絶対に放置しない。



 **禁止**

水で洗ったり、水のある場所で
使用/保管しない。
火災・感電・故障の原因。


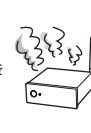
 **分解禁止**

分解、改造をしない。
火災・感電・破裂・けがの原因。
点検/修理は、弊社サポート
センターもしくは販売店へ。

警告

 **禁止**

落としたり、衝撃を与えない。
(強い衝撃を与える、無理に曲げる、
落とす、傷つける、上に重い物を
載せるなど。)火災や故障の原因。

 **禁止**

発熱体の近くで使用しない、
充電しない。
発火・破壊・火災の原因。

 **禁止**

以下のような場所で使用・
保管しない。
腐食性ガス雰囲気中(CL₂、H₂S、
NH₃、SO₂、NO_x 他)、ごみや
ほこりの多い場所、静電気の影響の
強い場所、等では使用、保管しない。
火災・故障の原因。

 **電圧がを**

万が一、異常が発生したら...
煙が出る、異臭や音がするなど
の異常が発生した時は、すぐに
電源をOFF、接続ケーブル類を
全て外し、速やかに弊社サポ
ートセンターへ連絡を。

注意



禁止

高温多湿の場所、温度差の激しい場所、チリやほこりの多い場所、振動や衝撃の加わる場所等の磁気を帯びたものの近くで保管しない。火災・破損・故障のおそれ。



禁止

ACアダプターのコードを束ねたままで使用したり、釘などで固定しない。感電・火災の原因。



禁止

ACアダプターのコードは、物を上に置いたり、敷物や家具の下に設置したり、布などで覆わない。感電・火災の原因。



禁止

大音量で長時間聞かない。聴力に悪影響を及ぼすおそれ。



禁止

湿気やほこりの多い場所、直射日光が当たる場所、加湿器・熱器具の近く等の場所では使用・放置しない。



強制

汚れたときは、電源プラグを抜いてから、乾いた柔らかい布で拭く。



禁止

必ず差込プラグを持って引き抜く。断線・故障の原因。



禁止

同梱のポリ袋は幼児の手の届かない所に置く。また、火のそばに置かない。



禁止

一般製品より高い信頼性が要求または、医療機器のような極めて高い安全が要求される用途に使用しない。当製品は一般オフィスや家庭のOA機器ないしホビー用途の製品として設計されています。



禁止

医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器での使用をしない。

本製品の故障により人身事故/火災事故/その他の障害が発生した場合、いかなる責任も負いかねます。

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

本書は本製品の導入ならびに運用方法を説明したマニュアルです。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず本書をよくお読みください。また、お読みになった後も本書は大切に保管してください。

1-1. 動作環境

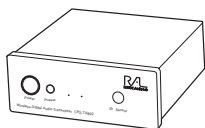
- ◆ 対応テレビ : 音声出力端子をもったテレビ
録画用出力端子をもったテレビ
※テレビ内蔵スピーカーと同時に音声出力ができる可変出力に設定してください。固定出力に設定した場合、音声とテレビ画面に遅延が発生する可能性があります。

- ◆ 対応オーディオ機器:【送信側】
ラインアウト端子(アナログ)をもったオーディオ機器
サブウーファー出力をもったオーディオ機器

- ◆ 対応オーディオ機器:【受信側】
アンプを内蔵したサブウーファー
S/PDIF光端子入力をもったオーディオ機器
ラインイン端子(アナログ)をもったオーディオ機器
※ヘッドホンなどアンプを内蔵しないものは接続できません。

1 -2. 内容物の確認

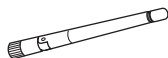
パッケージの中に下記の物がすべて揃っているかご確認ください。
万一不足がありましたら、お手数ですが弊社サポートセンターまたは販売店までご連絡ください。



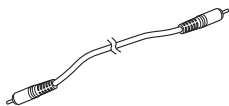
● 送信機



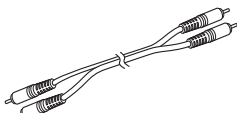
● 受信機



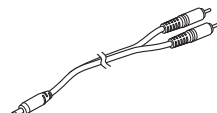
● 外部アンテナ×2



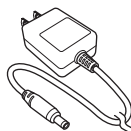
● モノラルRCAケーブル



● ステレオRCAケーブル



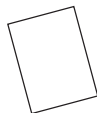
● ステレオミニ⇄ステレオRCAケーブル



● ACアダプター×2



● ユーザーズマニュアル
(本書)

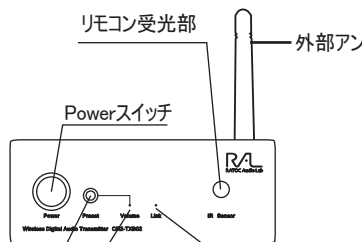


● 保証書

1 -3. 各部の名称

● 送信機

前面



リモコン受光部

外部アンテナ

Powerスイッチ

Volume LED (緑)

Link LED

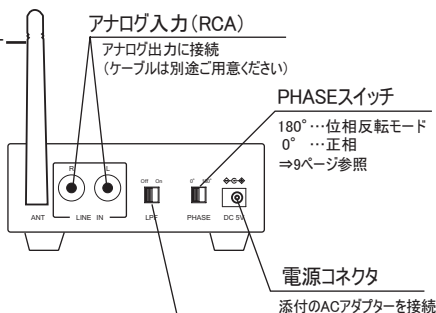
Presetスイッチ

リモコン受信機能ON/OFF
学習モード設定操作
⇒10ページ参照

点灯: リモコン受信ON
消灯: リモコン受信OFF
点滅: 学習モード

緑: 通信中
赤: 非通信
学習モード時
赤: 音量+設定時
緑: 音量-設定時
橙: 消音 設定時
⇒10ページ参照

背面



アナログ入力 (RCA)

アナログ出力に接続
(ケーブルは別途ご用意ください)

PHASEスイッチ

180° …位相反転モード
0° …正相
⇒9ページ参照

電源コネクタ

添付のACアダプターを接続

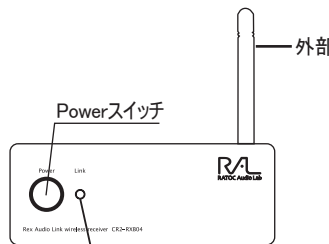
LPFスイッチ

150HzハイカットフィルターのON/OFF
⇒9ページ参照

点滅: 受信準備
点灯: 設定完了
点滅: 受信準備
点灯: 設定完了
点滅: 受信準備
点灯: 設定完了

● 受信機

前面

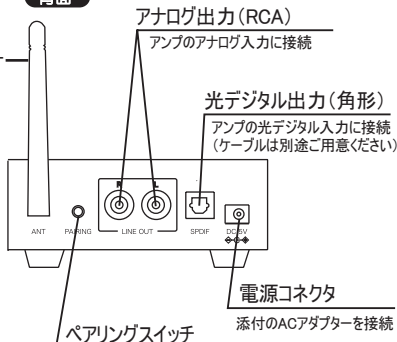


Powerスイッチ

Link LED

緑: 通信中
赤: 非通信
消灯: PowerスイッチがOFF、もしくは非通信が5分
続いたとき消灯します。
※受信機のLink LEDが消灯していても、POWER
スイッチをOFFにするまで電源は切れません。

背面



アナログ出力 (RCA)

アンプのアナログ入力に接続

光デジタル出力 (角形)

アンプの光デジタル入力に接続
(ケーブルは別途ご用意ください)

電源コネクタ

添付のACアダプターを接続

ペアリングスイッチ

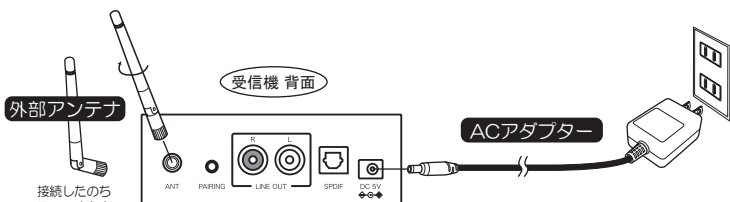
送受信機のペアリングを
おこないます。
⇒15ページ参照

1-4. 使用上の注意

- 受信機にヘッドホンなど入カインピーダンス(負荷抵抗)が10kΩ以下の機器を接続しないでください。内部のLSIが破損する恐れがあります。
- 外部音声出力のないテレビ/オーディオ機器には接続できません。
- テレビの録画出力に接続すると、テレビの画像より音声が多く再生されます。モニター出力に接続した場合でも、テレビによっては音声が早く再生する場合があります。
- 送信機をテレビに接続して使用する場合、テレビの音声出力設定をおこなってください。(詳細はテレビのユーザーズマニュアルをご参照ください。)
- 本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- 製品改良のため、将来予告なく外觀または仕様の一部を変更する場合があります。
- 本製品は日本国内仕様となっており、海外での保守及びサポートはおこなっておりません。
- 本製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については各地方自治体にお問い合わせください。
- 本製品の保証や修理に関しましては、添付の保証書に内容を明記しております。必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。

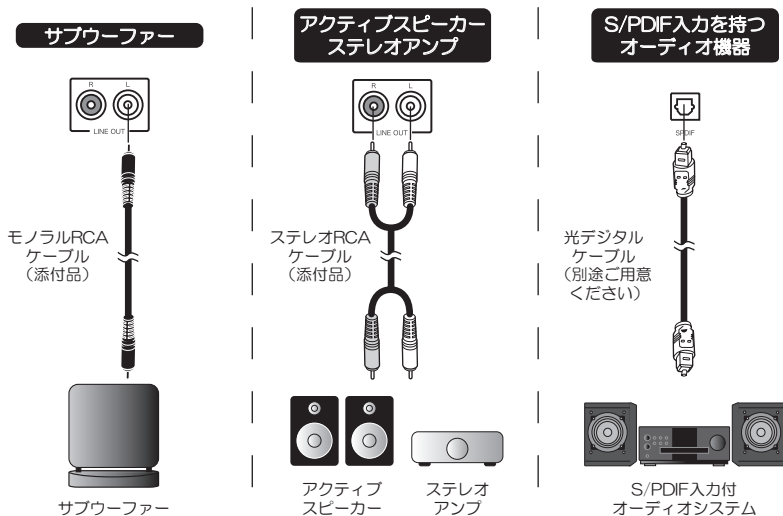
2 接続手順

1. 受信機に外部アンテナ、ACアダプターを接続します。

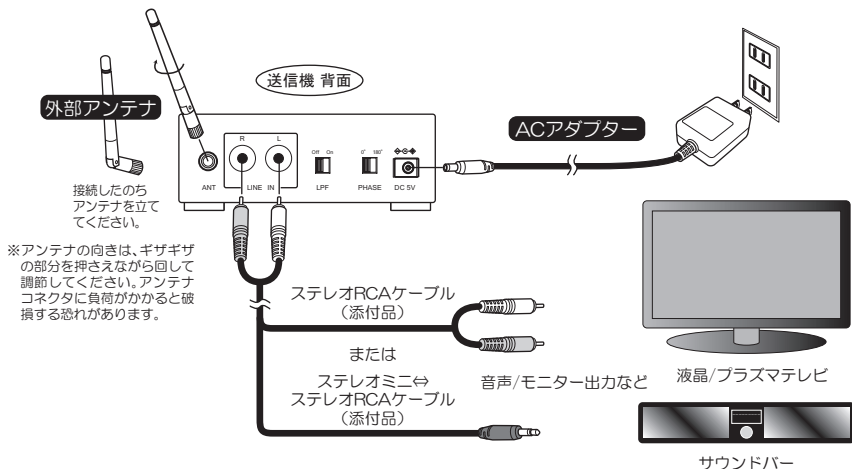


※アンテナの向きは、ギザギザの部分を押さえながら回して調節してください。
アンテナコネクタに負荷がかかると破損する恐れがあります。

2. 受信機にオーディオケーブルを接続します。
※用途に合わせて接続してください。



3. 送信機に外部アンテナ、ACアダプター、テレビ/オーディオ機器を接続します。

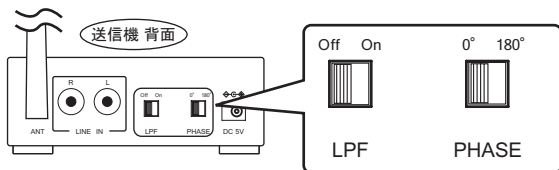


※アンテナの向きは、ギザギザの部分を押さえながら回して調節してください。アンテナコネクタに負荷がかかると破損する恐れがあります。

※受信機へ電波が届くよう10m四方の範囲内で、見通しのよい位置に送信機を設置してください。
※接続ケーブルが不足する場合は、別途ご用意ください。
※サブウーファー出力から本製品に接続した場合、受信機側に接続したサブウーファーの音量が小さく感じる場合があります。受信機側に接続したサブウーファーのボリュームを上げてください。

4. 送信機の設定をおこないます。

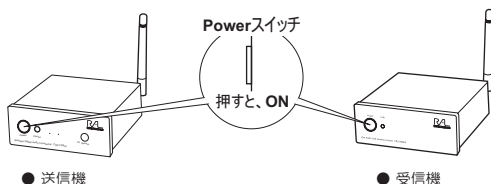
※サブウーファー接続時のみ。サブウーファー以外を接続する場合、次項の5.に進んでください。



※受信機にサブウーファー以外を接続する場合、LPFスイッチ：OFF PHASEスイッチ：0°にセットしてください。

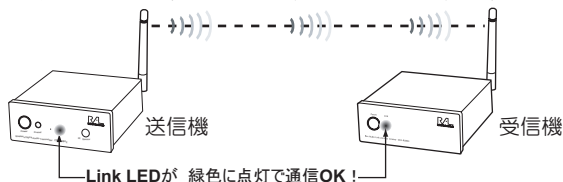
- LPFスイッチ：ON … 入力された左右の音声を混合し、150Hz以下の低音成分を取り出して合成し、受信機へ伝送します。
 OFF … Bypassモード（左右それぞれの音声を、そのままを伝送します。）
- PHASEスイッチ：180° … 位相反転モード（サブウーファー接続時）
 0° … 正相（サブウーファー以外接続時）

5. 送信機と受信機の電源をONにします。



6. 送信機、受信機ともに、緑色に点灯で通信可能です。

テレビ/オーディオ機器にて音楽を再生し、お楽しみください。



送信機側に接続した機器のスピーカー特性により、音の繋がりが不自然に感じられる場合があります。このような場合は、送信機側に接続したテレビや小型スピーカーの音声を調節（低音域の増幅など）してください。

手順通り接続しても音が聞こえないときは、下記をご確認ください

? 送信機、受信機ともに、緑色にLink LEDが点灯しない

? 手順通り接続しても音楽が聞こえない

4 「音が聞こえないときは」 14ページ参照

? 音が途切れやすい

5 「音が途切れやすいときは」 16ページ参照

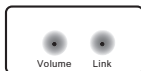
3

リモコンのボリューム信号を記憶する

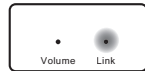


すでに設定済の場合、Presetスイッチを押すとテレビ/アンプ連動機能のON/OFFを設定できます。

ON時:
Volume LED点灯



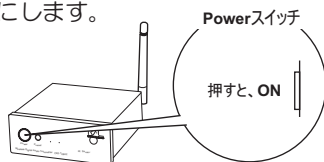
OFF時:
Volume LED消灯



本製品はテレビやアンプのリモコン音量ボタンを記憶することにより、受信機に接続された機器の音量が追従する“ボリューム連動機能”を搭載しています。この機能を使用するには、以下の設定が必要です。

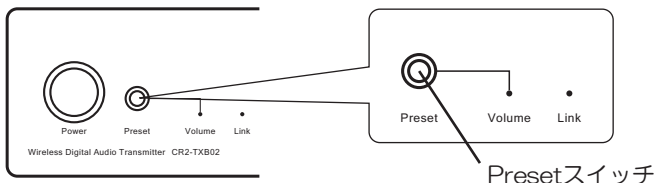
※テレビの音声出力設定を可変にした場合、テレビの音量に合わせて本製品に接続している機器の音量が変化しますので、この設定は不要です。また、アンプの可変出力やサブウーファー出力に接続する場合も同様にこの設定は不要です。Volume LEDが点灯している場合、Presetスイッチを押して、機能を解除してください。

1. 送信機の電源をONにします。

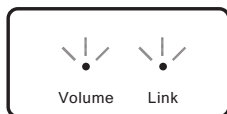


● 送信機

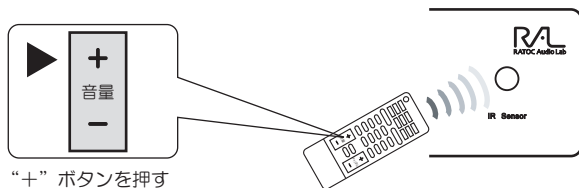
2. 送信機のPresetスイッチを長押し（約3秒）します。



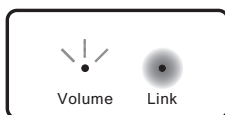
3. Volume LED（緑）とLink LED（赤）が点滅し、ボリューム“+”の学習モードになります。



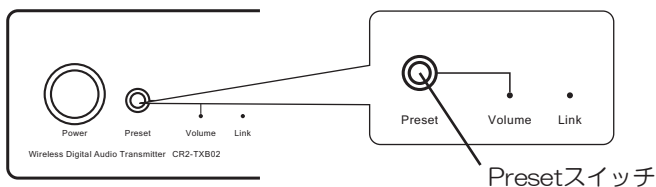
4. 使用するリモコンの音量“+”ボタンをリモコン受光部に向けて押します。



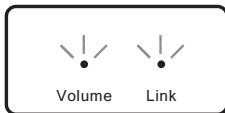
5. Link LED（赤）が点灯し、ボリューム“+”の設定が完了します。
【Volume LED（緑）は点滅しています。】



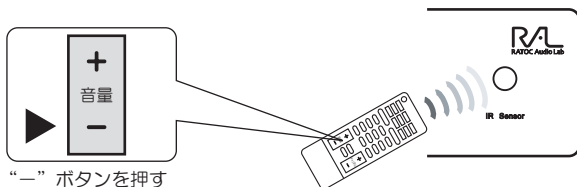
6. 送信機のPresetスイッチを押します。



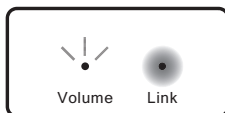
7. Volume LED（緑）とLink LED（緑）が点滅し、ボリューム“—”の学習モードになります。



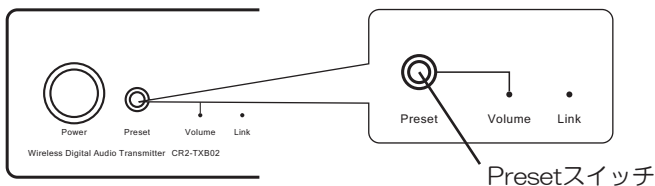
8. 使用するリモコンの音量 “-” ボタンをリモコン受光部に向けて押します。



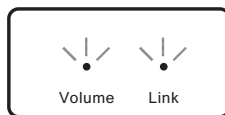
9. Link LED（緑）が点灯し、ボリューム“-”の設定が完了します。
【Volume LED（緑）は点滅しています。】



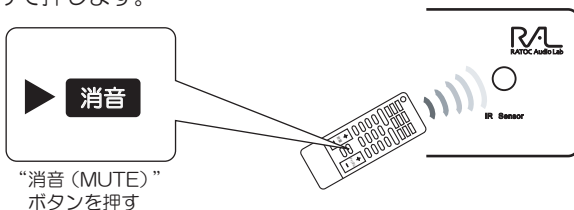
10. 送信機のPresetスイッチを押します。



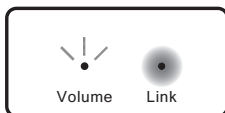
11. Volume LED（緑）とLink LED（橙）が点滅し、“消音（MUTE）”の学習モードになります。



12. 使用するリモコンの“消音（MUTE）”ボタンをリモコン受光部に向けて押します。

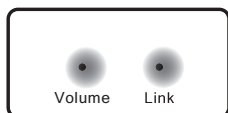


13. Link LED（橙）が点灯し、“消音（MUTE）”の設定が完了します。
【Volume LED（緑）は点滅しています。】

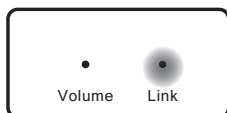


14. 送信機のPresetスイッチを押すと、設定が完了します。
Volume LEDが点灯し、ポリリューム連動機能がONになります。

ポリリューム連動機能
ON時

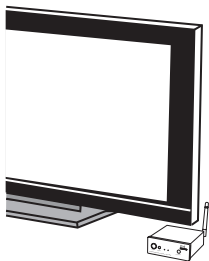


ポリリューム連動機能
OFF時



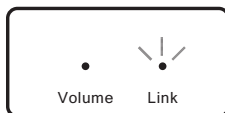
※一旦設定したポリリューム連動機能は、OFFにしてもリモコン設定を記憶しています。

以上で設定は完了です。ポリリューム連動機能を設定した送信機は、
接続した機器の近くに置き、リモコンの赤外線と同時に受信できる
ように設置してください。



※設定を出荷時の状態に戻すには、Presetスイッチを約7秒長押ししてください。

Link LEDが赤/緑交互に点滅し、
Volume LEDが消灯します。



以上で設定が出荷時の状態に戻ります。

4 音が聞こえないときは

4-1. 確認の流れ

手順通り接続しても音が聞こえないときは、次の点を順に確認してください。

送信機、受信機ともにLink LEDが緑色に点灯していますか？

点灯している。

⇒点灯していないときは…

- ①送信機と受信機の距離を縮めてください。近くに電波を発生する機器(無線LANカードなど)がある場合はそれらの機器の電源をOFFにしてください。
- ②上記①を試しても点灯しない場合、受信機をOFF後、送信機の電源をいれなおし、あらためて受信機をONにしてください。
- ③上記①②を試しても点灯しない場合、ペアリングをおこなってください。

4-2. ペアリングについて⇒15ページ参照

送信機に接続するテレビやオーディオ機器が正しく設定されていますか？

設定に問題はない。

⇒下記をご確認ください。

- ①送信機をテレビに接続して使用する場合、テレビの出力設定をおこなってください。
※詳細はテレビのユーザーズマニュアルをご参照ください。
- ②サブウーファ以外を受信機に接続する場合、送信機背面のLPFスイッチをOFFにしてください。

受信機に接続するオーディオ機器の入力設定が正しく設定され、ボリュームが適切な音量になっていますか？

設定/ボリュームは適切である。

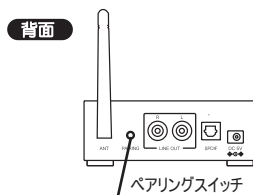
⇒下記をご確認ください。

- ①テレビ出力を可変出力に設定し、送信機に接続した場合、受信機側に接続した機器の音量が小さく感じる場合があります。
※受信機側に接続したオーディオ機器のボリュームを上げてください。
- ②ボリューム連動機能でボリュームを絞っている場合、出力レベルが小さくなっています。送信機のPresetスイッチを押して、ボリューム連動機能を解除してください。または、ボリューム連動したリモコンでボリュームを上げてください。

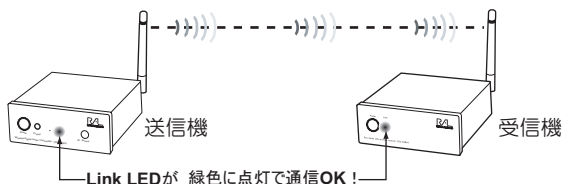
サポートセンターへご連絡ください。

4-2. ペアリングについて

1. 送信機、受信機ともにLink LEDが緑色に点灯しているか確認してください。点灯していない場合、手順2.へ進みペアリングをおこないます。
2. 受信機のペアリングスイッチを押すとペアリングが実行されます。



3. 送信機、受信機ともにLink LEDが緑色に点灯したか確認してください。



以上で、ペアリングは完了です。

👉 ペアリングとは

無線接続には、あらかじめ接続する相手の登録が必要です。これをペアリングと呼びます。一度ペアリングすれば、再びペアリングする必要はありません。本製品の場合、ペアリングの情報は受信機側に登録されます。なおペアリングは何度おこなっても問題はありません。

※本製品はREX-Link1シリーズ、REX-WHP1シリーズとの互換性はありません。

※送信機と受信機は1対1での通信となります。複数台同時受信はできません。

5

音が途切れやすいときは

音が途切れやすいときは、次の点を確認してください。

- 確認1** 無線LANカードや、Bluetooth製品を接続したパソコンなどを送受信機の近くで使用していますか？

本製品と同じ周波数帯域(2.4GHz)を使用する製品を送受信機の近くで使用している場合、電波干渉により音が途切れることがあります。

本製品をそれらの通信機器から遠ざけてください。可能であれば、他の通信機器を取り外してください。

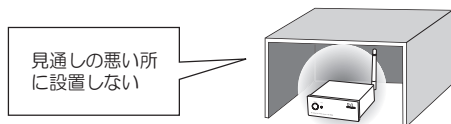


- 確認2** コードレス電話機、ワイヤレスAV機器、電子レンジを近くに設置していますか？

本製品と同じ周波数帯域(2.4GHz)を使用する製品を近接使用している場合も、電波干渉により音が途切れることがあります。それらの機器を本製品から遠ざけるか、または本製品を遠ざけてください。(約3mは遠ざけてください。)

- 確認3** 送信機と受信機の電波を障害物で遮っていませんか？

電波を障害物で遮ると、音が途切れたり、聞こえにくくなります。障害物を取り除き、見通しの良い位置に本製品を設置してください。(10m四方の範囲内で)



6

お問い合わせ

ご提供いただいたお客様の個人情報は、サポート目的のみに使用し、他の目的には使用しません。弊社の個人情報取り扱いに関する詳細は、弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.ratocsystems.com/info/privacy.html>

6-1. 本製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。お問い合わせの際は、ご使用の環境をあわせてお知らせください。ご質問に対する回答は、下記の営業時間内となりますのでご了承ください。ご質問の内容によりましては、弊社でのテスト・チェック等の関係上、回答までに時間を要する場合もございますので、あらかじめご了承ください。

ラトックシステム株式会社 サポートセンター
〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル
TEL 大阪:06-6633-0180

FAX 06-6633-3553 (FAXは24時間受付)
営業時間 月曜～金曜 10:00～13:00、14:00～17:00
土曜・日曜・祝日および弊社指定の休日を除く

ホームページで最新の情報をお届けしております。
ご質問もここから入力できます。

<http://www.ratocsystems.com/>

6-2. 修理について

万一故障した場合は、本製品に添付の保証書記載内容に基づいて修理いたします。故障と思われる症状が発生した場合は、まず本書を参照し、接続や設定が正しくおこなわれているかどうかご確認ください。現象が改善されない場合は、弊社ホームページの下記アドレス「修理について」を参照し、弊社修理センター宛に製品をお送りください。なお修理は部品修理ではなく、全交換修理となる場合がありますことをご了承ください。詳細は下記アドレス「修理について」をご参照ください。

<http://www.ratocsystems.com/services/repair/contents.html>

7

オプション品のご案内

オプション品のご注文は、ラトックダイレクトにて承ります。

<http://rps.ratocsystems.com/>

型番	品名
CR2-RXB02	Wireless Digital Headphone
CR2-TXB01	USB Wireless Audio送信機
RSO-AC05	ACアダプター (5V 2A)
RCL-RCAS	ステレオRCAケーブル
RCL-RCAM	モノラルRCAケーブル
RSD-LKRCA	ステレオミニ⇄ステレオRCAケーブル



Wireless Digital
Headphone



USB Wireless
Audio送信機



ACアダプター



ステレオRCAケーブル



モノラルRCAケーブル



ステレオミニ⇄ステレオRCAケーブル



USB Wireless Audio送信機と、本製品の受信機をペアリングすると、パソコンに保存された音楽をお楽しみいただけます。詳細はREX-Link2EX ユーザーズマニュアルをご参照ください。※弊社ホームページよりダウンロードできます。

<http://www.ratocsystems.com/services/manual/audio.html#link>

- 弊社製オプションのUSBワイヤレスオーディオ送信機(CR2-TXB01)やワイヤレスヘッドホン(CR2-RXB02)を使用する場合、初回のみペアリングが必要となります。(1度ペアリングをすれば、再びペアリングする必要はありません。)

型番	REX-Link2TX	
名称	Wireless Audio Adapter (非圧縮・16bit/44.1kHz)	
無線	【伝送方式】 デジタル無線/非圧縮方式 (リニアPCM, 16bit/44.1kHz 2ch) 【周波数帯】 2.4GHz (2.404~2.478GHz、ISM帯、スペクトラム拡散方式) 【変調方式】 適応型周波数ホッピング方式 (AFH) 【伝送帯域】 20~20000Hz (サンプリング周波数44.1kHz) 【転送速度】 4Mbps 【通信距離】 最大10m (見通し) ※使用環境により異なります。 【アンテナ】 外部アンテナ	
送信機	型番	CR2-TXB02
	名称	Wireless Audio送信機
	対応テレビ	音声出力、録画出力をもったテレビ ※録画出力に接続する場合は、テレビ内蔵のスピーカーと同時出力される可変出力に設定してください。
	対応オーディオ機器	ラインアウト端子 (アナログ) をもったオーディオ機器
	入力端子	ラインイン (RCA)
	位相切替スイッチ	ON: 180° (逆相) OFF: 0° (正相)
	LPFスイッチ	ON: LR音声を混合し150Hz以上をカット、 OFF: 20Hz~20kHz伝送
	Presetスイッチ	リモコンボリューム信号記憶、ボリューム連動機能 ON/OFF
	LR受信部	ボリューム連動機能 (各社対応)
	LED	Link LED: 緑=通信中、赤=非通信
	インジケータ	Volume LED: 点灯=リモコン受信ON、消灯=リモコン受信OFF、点滅=学習モード時
	電源電圧	+5V (ACアダプターより供給)
	消費電流	通信時: 52.0mA 非通信時: 60.0mA
	動作環境	温度: 5~35℃、湿度: 20~80% (ただし結露しないこと)
外形寸法/重量	100 (W) × 83 (D) × 43 (H) mm / 約280g	
材質	フロントパネル: アルミ 筐体: スチール フット: 低密度ポリエチレン (主絶縁体)	
受信機	型番	CR2-RXB04
	名称	Wireless Audio受信機 EX (据置型)
	対応オーディオ機器	光デジタル入力端子、またはライン入力端子 (アナログ) をもったオーディオ機器 ※ヘッドホンなど、アンプを内蔵しないものは接続できません。
	オーディオ出力端子	ラインアウト (RCA 2ch) S/PDIF 光出力 (44.1kHz、16bit、2ch)
	スイッチ	Powerスイッチ、ペアリングスイッチ
	LEDインジケータ	緑=通信中、赤=非通信 消灯=PowerスイッチがOFF、もしくは非通信 (待機状態が5分続いた時、受信機のLEDは消灯します。)
	電源電圧	+5V (ACアダプターより供給)
	消費電流	通信時: 48.0mA 非通信時 (LED点灯): 60.0mA 非通信時 (LED消灯): 51.0mA
	動作環境	温度: 5~35℃、湿度: 20~80% (ただし結露しないこと)
	外形寸法/重量	100 (W) × 83 (D) × 43 (H) mm / 約280g
材質	フロントパネル: アルミ 筐体: スチール フット: 低密度ポリエチレン (主絶縁体)	
製品内容	Wireless Audio送信機、Wireless Audio受信機 EX、外部ロッドアンテナ×2、ステレオRCAケーブル、モノラルRCAケーブル、ステレオミニ2chステレオRCAケーブル、ACアダプター×2、ユーザーズマニュアル、保証書	
保証期間	1年	

※本製品は国内仕様となっており、海外での保守、およびサポートはおこなっておりません。

※製品改良のため、予告なく外觀または仕様の一部を変更することがあります。

REX-Link2TXは工事設計認証を取得しています。



CR2-TXB02(送信機):008WWA110327

CR2-RXB04(受信機):008NY070061

本製品に組み込まれた無線設備は、本製品に実装して使用することを前提に、認証を取得しています。従って、組み込まれた無線設備を他の機器へ流用した場合、電波法の規定に抵触する恐れがありますので、十分ご注意ください。

【ご注意】

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1.この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2.万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の放射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
- 3.その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

（連絡先）ラトックシステム サポートセンター

TEL : 06-6633-0180

<http://www.ratocsystems.com/mail/support.html>

2.4FH1



<現品表示内容の意味>

2.4 … 2.4GHz帯を使用する無線設備を表す。

FH … 変調方式が周波数ホッピングであることを表す。

1 … 想定される干渉距離が10m以内であることを表す。

 … 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味する

REX-Link2TX 質問用紙

(第1.0版)

ラトックシステム株式会社 サポートセンター宛

FAX: 06-6633-8285

お手数ですが、拡大コピーの上必要事項を記入して、FAXでお送りください。

氏名			
会社・学校	※法人登録の方のみ		
部署・所属	※法人登録の方のみ		
住所	〒		
TEL		FAX	
メールアドレス			
製品型番	REX-Link2TX	シリアル番号	L2TX
購入店名			
購入年月日			

送信機側 接続機器	メーカー名		型番	
受信機側 接続機器	メーカー名		型番	
質問内容				
添付資料				

提供いただいたお客様の個人情報は、サポート目的のみに使用し、他の目的には使用しません。

弊社の個人情報取り扱いに関する詳細は、弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.ratocsystems.com/info/privacy.html>



▲ 注意 添付マニュアルに記載していない情報を追加しています。
マニュアルと一緒に大切に保管してください。

REX-Link2TX ユーザーズマニュアル補足

- ・対応オーディオ機器の設定とボリュームについての注意事項
- ・対応リモコンメーカーと個別設定

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
REX-Link2TXのマニュアルに補足説明がございます。
冊子マニュアルとあわせて本紙を参照くださいますようお願いいたします。

①対応オーディオ機器

差替 冊子 4ページ **1** -1. 動作環境

次の項目を差し替えてお読みください。

◆対応オーディオ機器:【受信側】

アンプを内蔵したサブウーファー

※送信機に接続した機器の音声出力が固定の場合、ボリュームが調節できないサブウーファーを受信機に接続して使用すると、大きな音が出て聴力に影響を与えることがあります。必ず「**3** リモコンのボリューム信号を記憶する」でボリュームの設定をおこなってください。

S/PDIF光端子入力をもったオーディオ機器

ラインイン端子(アナログ)をもったオーディオ機器

※ヘッドホンなどアンプを内蔵しないものは接続できません。

②注意事項

差替 冊子 10ページ **3** リモコンのボリューム信号を記憶する

次の項目と手順を差し替えてお読みください。

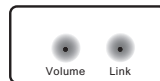
項目 **3**



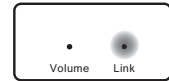
すでに設定済の場合、Presetスイッチを押すとテレビ/アンプ連動機能のON/OFFを設定できます。

▲ 注意 受信機に接続した機器の音量を大きくしたままでPresetスイッチを押さないでください。突然大きな音が出て、聴力に影響を与えることがあります。

ON時:
Volume LED点灯



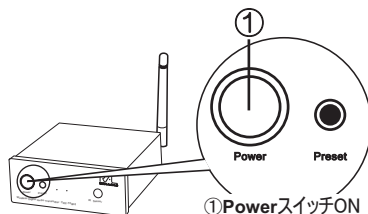
OFF時:
Volume LED消灯



1. 送信機の電源をONにします。

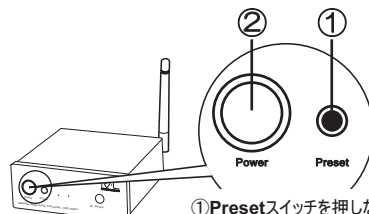
手順 1.

ボリュームが調節できるサブウーファーやオーディオ機器を受信機側に接続した場合



● 送信機

ボリュームが調節できないサブウーファーを受信機側に接続した場合



● 送信機

①Presetスイッチを押しながら
②PowerスイッチをON
※本操作により、本製品から出力される
ボリュームは最小となります。

(裏面に続く)

注意 添付マニュアルに記載していない情報を追加しています。
マニュアルと一緒に大切に保管してください。

③ボリューム連動機能に対応するメーカー一覧

追記  10ページ **3** リモコンのボリューム信号を記憶する

リモコンのボリューム信号を記憶することができるメーカーは以下の通りです。

※一部機種によっては対応できない場合があります。

対応メーカー			未対応メーカー
SONY	MITSUBISHI	ONKYO	YAMAHA
Panasonic	Pioneer	DENON	Victor
東芝	SANYO	YAMAHA(DVDプレイヤー)	
日立	SHARP	FUJITSU(PCリモコン以外)	
アイワ	SAMSUNG	NEC(PCリモコン以外)	
LG			

※ボリュームボタンを長押ししたとき、リモコンによっては受信機側に接続された機器の音量が変化しない場合があります。このような場合、ボリュームボタンを長押しせず1回づつボタンを押して音量を調節してください。

※本機能は送信機に記憶したリモコンと連動するものであり、接続された機器と同一の出力レベルに調節する機能ではございません。送信機に接続された音声と出力レベルの同期をとるには、接続する機器の可変出力を送信機に接続してください。

④リモコンのボリューム設定が一部記憶できなかった場合

追記  10ページ **3** リモコンのボリューム信号を記憶する

マニュアルに記載している手順通りに設定しても、リモコンの設定が一部記憶できなかった場合、下記の手順に従いリモコンの設定を個別に追加記憶させてください。




1. 送信機の電源をONにします。



2. 送信機のPresetスイッチを長押し（約3秒）します。



3. 記憶されていないリモコンのボリューム信号を設定します。

- ボリューム“+”が記憶されていない場合 : ⇒  10ページ **3**-3.から **3**-5.までの手順で設定後、Presetスイッチを3回押ししてください。
- ボリューム“-”が記憶されていない場合 : ⇒Presetスイッチを1回押し、 11ページ **3**-7.から **3**-9.までの手順で設定後、Presetスイッチを2回押ししてください。
- “消音(MUTE)”が記憶されていない場合 : ⇒Presetスイッチを2回押し、 12ページ **3**-11.から **3**-13.までの手順で設定後、Presetスイッチを1回押ししてください。



4. 以上で設定完了です。

Volume LEDとLink LEDが点灯し、ボリューム連動機能がONになります。

